

わたしの提言

○投稿内容：柏台教員住宅、柏台保育所、柏台第二住宅空き家 対策について

趣旨

- (1) 柏台小学校閉鎖に伴い、柏台教員住宅は空家のまま放置するのかを伺いたい。
- (2) 柏台保育所が来年3月で閉所する旨を5月31日に柏台保育所保護者会のお知らせで初めて知りました。これまで、事前説明なし、聴取なし、代替案の提示なしに3月27日の保護者会で伝えてきたそうです。今回の閉所を告げる経緯があまりにも唐突で市政のあり方に甚だ憤りを感じます。
- (3) 市は現在、空家対策についてよく広報に書かれていますが、柏台には以前から市営住宅（長屋）が空家状態で、多数あります。今後どのようにするのか伺いたいです。

(2026年5月)

○回 答

(1) 柏台教員住宅の利用について

現在、柏台教員住宅は平成22年より空き家となっており、定期的に除草剤散布や草刈り等を行っております。教員住宅という性質上、規則により入居対象者が限定されており、一般の方への貸付はできないことから、入居者の確保が難しい状況にあります。

また、トイレや浴室などの施設が老朽化しており、入居にあたっては一定の改修が必要となりますが、現時点では改修に係る財源の確保が課題となっております。

このため、当面は現状を維持しながら適切な管理に努めるとともに、柏台小学校閉校後の教員住宅としての在り方や施設の状況などを踏まえ、今後の活用の方
向性について検討してまいります。

(市教育委員会 教育総務課)

(2) 柏台保育所の閉所について

保育所の運営にあたりましては、子ども同士の関わり合いの中で育つ、集団保育の環境を確保することが重要であると考えております。

柏台保育所は年々入所児童が減少し、現在は1歳児と2歳児、4歳児と5歳児がそれぞれ混合保育（異年齢保育）を行う状況となっております。こうした状況を踏まえ、一定の集団規模を維持することで、同年齢同士での体験や成長の機会を増やし、年齢に見合った保育環境を確保できるよう検討を重ねてまいりました。そのうえで、令和8年3月に保護者説明会を開催いたしました。

しかしながら今回の説明会において、保護者の皆様に多大なご不安とご心配をおかけしましたことは、説明の進め方などに課題があったものと受け止めております。

今後は、保護者の皆様のご意見を真摯に伺い、丁寧な説明に努めますとともに、子どもたちにとってより良い保育環境の実現に向けて取り組んでまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

(福祉部 健康こども課)

事業評価区分：C (調査・検討課題とする)

(3) 柏台第二住宅の空き家対策について

柏台第二住宅は、昭和48年から昭和53年にかけて建築された簡易耐火構造の市営住宅です。簡易耐火構造の公営住宅は耐用年数が30年と定められており、当住宅は建築後48年から53年が経過し、いずれも耐用年数を大幅に超過している状況にあります。

市では、令和4年に「八幡平市市営住宅長寿命化計画」を策定し、この計画に基づいて柏台第二住宅は用途廃止（廃止決定）といたしました。

現在、入居中の世帯の皆様には柏台第一住宅への移転をご案内しております。すべての世帯の移転が完了し、空き家となった段階で建物を解体する予定です。

地域住民の皆様の安全・安心のため、計画的な管理に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(産業建設部 建設課)

事業評価区分：B (今後実施・改善する)
